

広げよう認知症サポーターの輪○ 特別養護老人ホームでのボランティア体験

日 程：令和8年7月23日
場 所：特別養護老人ホーム大師の里
参加者：8名
(子ども7名、保護者1名)

【プログラム内容】

- 認知症キッズサポーター養成講座
- きざみ食・とろみ食の試食
- 施設内見学
- 車椅子・福祉車両体験
- デイサービスでの交流



【参加者の声】

- 高齢者と関わる時は「驚かせない」「急がせない」「心を傷つけない」の3つを守りながら経験ができて良かった。
- 高齢者の方との交流の中で、一人ひとりがこれまでたくさんの経験を積み上げて来た事を感じた。

こども食堂でボランティア！ こどもたちと一緒にカレーを作って交流しよう！

日 程：令和8年8月7日
場 所：たじま家庭支援センター
参加者：6名

【プログラム内容】

- こども達とカレー作り
- こども達との交流
- 施設見学



【参加者の声】

- 自身が地域の人と関わる機会が少ないため、とても良い体験ができた。
- 高齢者の方と接し、とても若く健康的に見えた。健康でいるために、何が必要か知れた。

3 高齢者ミニテイサービスでのボランティア体験

日 程：令和8年8月14日
場 所：渡田老人いこいの家
参加者：7名



【プログラム内容】

- 地域包括支援センターの講話
- テイサービス参加者との会食会
- レクリエーションでの交流

【参加者の声】

○スタッフの様子を見て、どのように高齢者と接しているのかを学べた。自分もこれから高齢の方と関わることが多くなると思うため、自分なりの接し方を探したいと思った。

○初めてのことでしたが、多くのことを学ぶことができた。

4

おにぎりキャラバン にぎにぎおいしくボランティア体験

日 程：令和8年7月29日
場 所：社会福祉法人 青丘社
ふれあい館
参加者：8名



【プログラム内容】

- 施設見学
- おにぎりキャラバンの説明・練習
- 子どもたちとおにぎり作りを通じた交流

【参加者の声】

○ごはんを家で食べることができるのが当たり前ではないことや、小さい子から高校生が仲良くしているのを見て、年齢に関係なく助け合うことが大切だと感じた。

○自分から進んでどのように行動するか、どの役割を担うかなどを考えて行動するという経験が新鮮だった。

こども文化センターでボランティア 段ボール迷路を設置・運営しよう

日 程：令和8年8月10日
場 所：浅田こども文化センター
参加者：4名



【プログラム内容】

- 施設見学
- エアスライダーの設置・運営
- お絵描き等遊びを通じての
子ども達との交流

【参加者の声】

- ボランティアに参加することに緊張をしたけれど、想像以上のやりがいを感じられた。気負いすぎず、今後も機会があったら参加したい。
- 普段関わることのない小学生やもっと小さな子どもと交流できる機会は少ないため、とても良い経験になった。

キッズスペースろぼでボランティア！ 乳幼児と交流しよう

日 程：令和8年7月24日
場 所：ふれあい館
参加者：4名



【プログラム内容】

- 施設見学
- 乳幼児との交流
(おもちゃ遊びやお絵描き等)
- 乳幼児の使用したおもちゃの
消毒や片付け

【参加者の声】

- 小さい子との色々な交流をすることで、自分も色々なことを体験・学べると分かった。
- 子どもとの関わり合いがあまりないため、たくさん関わりを持って、お話や遊びをすることができて楽しかった。

日 程：令和8年7月30日
場 所：福祉パルかわさき大研修室
参加者：5名

【プログラム内容】

- 共同募金運動についての講話
- 募金方法や資材の説明
- 募金箱づくり

【参加者の声】

- 赤い羽根募金がどこに使われているのかが、分かった。
- 募金にはたくさんの種類があることが分かった。

